

青森県立保健大学広報誌 活彩！ 保健大学だより

Campus Magazine

vol.36

AUTUMN
2016

大学祭2016

Going my own way.
～ひらけ 私たちの未来へ～



保健大学の
魅力が結集!!



学生さんの一体感が、
とても印象的でした!!

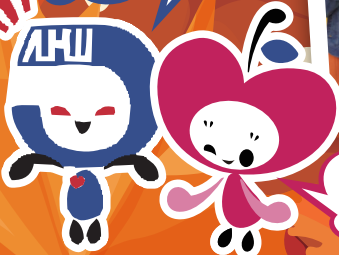
今年の大学祭は、前夜祭も含め10月7日(金)、8日(土)、9日(日)の3日間にわたって開催いたしました。土曜日は雨風がひどかったものの、日曜日はなんとか天気が荒れることもなく、無事に終えることができました。

今年は悪天候を見越し、花火に代わる企画を考え、大学祭の期間中に物々交換を行う「わらしべ長者」を行いました。たくさんの人と物々交換を行い、人々との繋がりが見え、学生が一つになる企画になったのではないかと思います。またこの他にも、ヘルスリテラシーといった健康に対する考えを深めようという保健大らしい企画があったり、サークルの発表や出店があったりと、たくさんの楽しみ方ができた大学祭になったのではないかと思います。

大学祭の実行委員で参加した方、サークルの出店、発表で参加した方、関わってくれた皆様が楽しかったと言ってもらえるようにという思いでこの大学祭を作り上げてきました。楽しめた部分も、準備や配慮が足らず、楽しきれなかった部分もあったかと思いますが、今回の大学祭で良かった所、思った所、大変な所、楽しい所など、感じたことを後輩に伝えていきたいと思っております。

多くの学生や先生方、地域の方々にも協力を得て、今年の大学祭を終えることができました。企画に参加してくれた学生や来てくださった市民の方々、運営に協力してくださった皆様ありがとうございました。

大学祭実行委員長 永井 肇



モーリーとリンリン®

サークル活動

野球サークル

みなさん、こんにちは。青森県立保健大学野球サークルです。

野球サークルでは平日は毎週木曜日の17時から21時まで活動しています。また、土曜日、日曜日は10時から13時まで活動しています。基本的に学校のグラウンドで活動していますが、雪の降る冬場や雨天時などは体育館を使用し練習をしています。

私たち野球サークルは毎年、青森県野球連盟に加盟しています。平成28年度の大会成績としては、青森市長杯で準優勝、東日本支部予選大会で準優勝を果たしました。また、大学リーグにも参加しており青森公立大学、弘前学院大学、青森中央学院大学、



青森県立保健大学で試合を行っています。今年から新たに弘前大学も参加し、普段の練習の成果を発揮し切磋琢磨しています。

普段の活動に加え青森県立保健大学の大学祭では毎年模擬店を出店しており、例年同様とても好評でした。前夜祭、中夜祭、

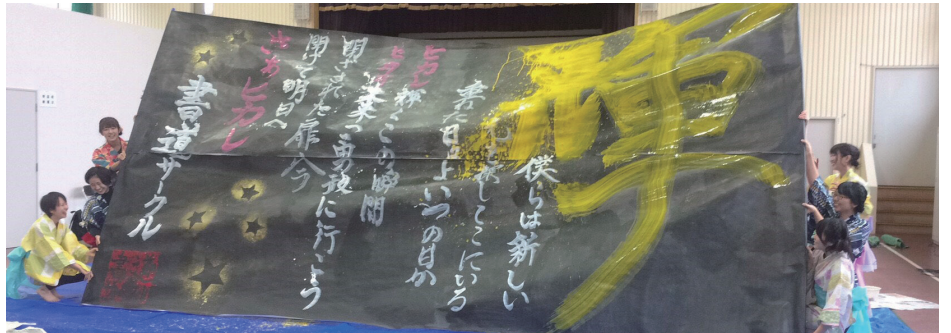
後夜祭で行われるステージでの発表にも参加し大学祭を盛り上げています。

野球経験者も未経験者もこれから大学で普段体を動かしたいと考えている人もぜひ野球サークルに気軽に来てください！みんなで楽しく野球をしましょう！

書道 guy's サークル

こんにちは。私たち書道guy'sサークルは現在三年生2名、二年生1名、一年生6名の計9名で活動しています。主な活動内容は書道パフォーマンスです。今年は保健大主催のケア付きねぶたじょっぱり隊開会式、学祭オープニングアクト、学祭でのサークル発表等で書道パフォーマンスをさせていただきました。

書道と言うと堅いイメージがあるかと思いますが、パフォーマンス経験者は少数で他は全員大学に入学してからはじめてメンバーです。書道パフォーマンスの魅力はリアルタイムに作品が完成した時の



喝采や高揚感であり、私たち全員もそれらを楽しみに楽しく練習させていただいております。今後も学内学外での書道パフォーマンスや個人制作を含め幅広く

活動していきます。未経験の方にも少しでも書道の楽しさを知っていただければと考えておりますので、今後もぜひよろしくお願いします！

吹奏楽サークル

こんにちは！吹奏楽サークルです！

吹奏楽サークルは現在約30人で活動しており、公開講座での前座演奏、町内会での演奏、大学祭での演奏などのイベントに向けて日々練習に励んでいます。練習は主にA111教室で、イベントの1~2ヶ月前から集中的に行っています。大学のイベントでの演奏や地域ボランティア演奏の他にも、青森駅前周辺で行われたアートと音楽のイベントであるA-paradiseにも参加させていただき、青森駅前の活性化に協力できたのではないかと考えています。このA-paradiseを通して学生以外の人脈も大きく広げることができ、音楽の持つ力を実感できました。



また、吹奏楽サークルはポムジュール吹奏楽団に加盟しています。ポムジュール吹奏楽団とは、青森県立保健大学、青森公立大学、青森中央学院大学の3つの大学から編成された合同バンドです。ポムジュール吹奏楽団では年に2回行われる演奏会の

他、岩手県野田村での復興演奏を行っています。サークルだけでは味わうことができない大編成での演奏が出来る他にも、他校との交流も深めることができます。音楽、吹奏楽が好きな方はぜひ吹奏楽サークルに入ってみませんか？

バトントワリングサークル

みなさんこんにちは。バトントワリングサークルです。

このサークルは、バトンの面白さをたくさんの人たちに知っていただきたい、もっと有名なスポーツにしたいという思いから、今年発足したサークルです。初めは経験者であるサークル長の仲良しメンバーで結成されたサークルでしたが、現在は結成時よりも人数が増えました。メンバーのほとんどが初心者ですが、イベントでの発表に向け、みんなでレベルアップを目指し、お互いに協力しながら練習しています。

先日行われた大学祭が私たちにとって

初めてのステージでした。サークル発足時から大学祭で演技を披露することを目標に、大学の体育館を借りて練習を重ねてきました。初めての発表だったということもあり、未熟なところがたくさんあったと思います。それでもたくさんの方に見ていただけたこと、ご感想をいただけたこと、とても嬉しく思っております。ありがとうございました。

来年度の大学祭では、ノードロップ(バトンをとさないこと)での演技、感動を与えられる演技を目標にメンバー全員で練習していきますので、是非見に来てください。



最後に、まだまだ新しいメンバーを募集しています。気軽に見学に来てください。サークルメンバー一同お待ちしております！

オープンキャンパス

夏本番の8月7日(日)にオープンキャンパス2016が開催されました。猛暑にも関わらず、県内外から多くの高校生・受験生とその保護者にご来場いただき、キャンパスは熱気に包まれました。オープンキャンパスは保健大学を目指す高校生・受験生の皆さんにホームページや大学案内では分からない教育や研究などを体験的に理解していただくために毎年開催しています。

各学科の魅力的な講義を一足先に体験する模擬講義や趣向を凝らした体験・見学コーナーなどの他、入試や学生

生活など、在学生や教員の話に熱心に耳を傾ける姿が見られました。

また、今年は大学院進学相談会を並行開催しました。来年度からスタートする新カリキュラム、新たに来年度開設となる「がん看護専門看護師コース」に関する相談も多く寄せられました。

多くの高校生・受験生とその保護者が、保健大学のキャンパスに実際に足を運び、本学の魅力を感じてもらえたことが、来場者の雰囲気やアンケート結果からも伝わってきました。

看護学科



臨床現場で実際に起こる場面を繰り返し学習できる、高性能シミュレーターによる看護体験の様子です。

理学療法学科



病気や怪我のために、日常生活の動作が不自由になった方への便利な機器や道具などを体験している様子です。

社会福祉学科



本学の入試制度について、熱心に聞き入る参加者の皆さんが印象的でした。この他、疑似体験用の装具をつけ、高齢者の生活場面を体験していただきました。

栄養学科



栄養や食品の実験、食育、治療食、給食など、栄養学科で学ぶことを垣間見る体験コーナーや世界と日本の栄養状況に関する模擬講義がありました。写真は味覚に関する体験コーナーの様子です。

就職活動支援

就職活動セミナーは、外部講師を招き、1～2年生は「就職活動の全体像とキャリアプラン」や「自分軸を探す」、3年生は「ビジネスマナー」や「自己分析」、4年生は「応募書類の書き方(志望動機)」や「面接の受け方」等、年間13回開催しています。また、学科毎に卒業生を招き、現在の仕事や職場のこと、就職活動のコツを伝授してもらう「就職ガイダンス」も開催しています。さらに、年に4回、就職合同説明会を開催しています。



就職活動セミナー 3年生「自己分析」(10月6日開催)

国家試験対策(栄養学科)

栄養学科では学生主体で国試対策を行っており、それを4名の国試対策担当教員がサポートしています。模擬試験も学生だけで運営し、初夏から翌年2月までの間に全部で8回実施しています。試験監督を3年生にお願いすることもあるので、このことは3年生にとって国試対策の重要性を早期に認識できる機会となっています。模擬試験の結

果は教員と共有し、合格ラインまであと一歩の学生に対してゼミ担当教員や国試サポート教員が個別に助言しています。国試対策の自習室を兼ねている「栄養学実験室」は常時開放されていて、大学に送付されてくる受験情報誌や、これまでの卒業生が使った問題集等が置かれています。学生はそこで仲間と情報交換をしながら、学習することもできます。



模擬試験の開始前の様子

女子学生のキャリア支援教育の取組

本学では、平成27年度から、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に係る「オール青森で取り組む『地域創生人材』育成・定着事業」に協定校として参加しています。

中でも、この事業の柱のひとつである「女子学生のキャリア支援教育プログラム開発」ワーキンググループの主宰校として、メンバーとなっている他4校と連携して事業を展開しています。

昨年度は、学生や卒業生へインタビューやアンケート調査を実施し、今年度はその調査結果を反映させ、大学生・企業向けのセミナーを開催します。

大学生向けセミナーは、自分の年齢に近いゲストの働く経験を聞き、話し合いを通じて、自分のキャリアの方向性を探る「くらすはたらく」シリーズとして、11月19日(土)「session1～女社会×男社会～」を開講し、楽しい上に充実したセッションとなりました。次は「session2～お金×時間～」を予定しています。企業向けセミナーは、第1弾として12月3日(土)「新卒看護職の採用力向上セミナー【入門編】」を開催予定です。



グループディスカッションでは、ゲストや他大学の学生との対話を通して、「社会でくらす・はたらく自分」をアウトプット・共有しました。

さらなる飛躍に向けて(大学院での研究)

看護学分野

教授 角濱 春美



前2人が博士課程の在籍学生、
右側が修士課程の在籍学生です

看護基礎科学研究室は、看護師が患者さんに提供する看護技術や、看護の考え方のもとになる理論を開発することを目指した研究室です。修士課程は7年前に、博士課程は今年から開設しました。在籍する3名の研究テーマは、①看護師の健康を保つための経験の受け止め方に関する研究、②看護師の観察と判断に関する研究、③高齢者をより良い睡眠に導くための援助に関する研究です。かなり幅広いテーマですが、説明することができずにいた「看護」という現象を相手に示すために、志高く研究活動を行っています。

理学療法学分野

教授 岩月 宏泰

私の研究室では運動学や運動生理学の視点から身体運動の科学を研究しています。現在、ここには、後期課程1名、前期課程1名が在籍しています。彼らの研究内容を紹介しますと、後期課程学生は二重課題時の動作パフォーマンスに関する解析を前期課程学生は立位姿勢で上肢を運動させた際の下肢筋活動の解析を行っています。これらの研究の成果は高齢者や障害者の日常生活活動を高めることが期待され、今後の進展が楽しみです。



博士前期課程の木村文佳さん(写真左)と、
博士後期課程の越後あゆみさん(写真右)

地域保健福祉学分野

教授 大山 博史



地域保健福祉学分野では、地域や施設における健康・福祉課題に関するテーマを扱っています。最近では、前期・後期課程の院生らが、青森県健康課題である生活習慣病対策、自殺問題、高齢者の生活機能維持などに焦点を当て、課題解決に向けた研究に取り組んでいます。私の研究室では、青森県内の自治体と連携して、壮年者自殺予防介入研究に継続して取り組んでおり、一定の成果を得ています。一方、高齢者自殺死亡率が高止まりしていることから、既存の介護予防システムにおける生活機能評価を活用し、新たなうつ・自殺スクリーニング法の開発に着手しています。

健康栄養科学分野

教授 吉岡 美子

平成29年度から健康栄養科学分野も新たなコースでスタートしますが、これまでにライフステージ(児童・妊娠期)や高校生アスリートを対象に食生活や気分状態と栄養教育に関する研究を行ってきました。現在、研究室には博士前期課程社会人長期コースの兼平仁子さんが在籍し、高校生の食の自己管理能力形成に関する研究に取り組んでいます。修了後も大学院で取り組んだ研究の論文投稿を目指し、働きながら引き続き頑張っています。



写真右は兼平さん、左から2番目は今年度9月修了生の小沼さん
左は3月修了の米谷さん

特集

平成28年度国際科講演会

地域連携・国際センターは、地域連携科、研修科、国際科と3つの科で構成されていますが、今回は11月5日(土)に開催された国際科講演会に焦点を当てて特集しました。

国際科講演会は地域住民を対象として、国際交流のみならず、多文化共生を考える機会を提供し、他の国やそこで暮らす人々への理解に繋げることを目的として開催しています。昨年度は、「多文化共生とは何か」を学びました。今年度は、実際に多文化共生している青森県在住の外国人の思いを伺うこととし「活躍する外国人から見た日本～伝えたい青森の魅力～」というテーマを掲げました。県内でご活躍されているミハイ・フロリン・アポスト・オオタ氏とギャレス・バーンズ氏のお二人をお招きし、外国人から見た青森について語っていただきました。

ミハイ氏は、自国のルーマニアの文化を紹介しながら、また、ギャレス氏は、特技の津軽三味線を披露しながら、青森に住もうと思ったきっかけや、どのようにして青森に馴染んだのかなどを語っていただきました。参加者からの質問も多く、青森の魅力が再発見できる楽しい講演となりました。



写真向かって左がミハイ氏、右がギャレス氏です。



ミハイ氏



ミハイ氏からは、ルーマニアの文化について、地理、民族衣装、料理等多方面から紹介していただきました。



ギャレス氏



ギャレス氏の津軽三味線はかなりの腕前で、また、さりげなくでてくる津軽弁が印象的でした。



来場いただいた方々は、お二人のユニークな目線から語られる青森の魅力に、熱心に聞き入っていました。

研究推進・知的財産センター

研究推進・知的財産センターについて

研究推進・知的財産センターは、学内外の諸機関との連携を図りつつ、本県の地域特性に即した保健医療・福祉分野に関する研究をはじめとする学際的、総合的な教育研究を推進し、県立保健大学の学術研究水準の向上、地域における保健医療・福祉の向上に寄与することを目的としています。

今年度の研究推進・知的財産センターの取り組みについて

(1) 北東北ものづくりプロジェクト形成ネットワークへの参画と活動

北東北を中心としたさまざまな大学がスクラムを組み、知的財産について情報交換し、その数を増やし、実用化を目指していこうとするネットワークです。本学は、その幹事大学として活動しています。

(2) 「研究談話会」の実施

本学教員が研究を進めていく上での相互理解をめざして、リラックスして情報交換したり、議論したりする場を設けています。

(3) 教員インタビュー「保健大の研究最前線(研究室を訪ねて)」の実施

本学教員のホットな研究内容を地域の皆様にお伝えしようとする企画です。これから回を重ねていきます。ご期待下さい。

上記の取り組みの詳細は、青森県立保健大学研究推進・知的財産センターホームページに掲載しております。是非、ご覧ください。 URL : <http://www.crip-ahw.jp/index.html>



研究談話会の様子です。

研究推進・知的財産センター出展イベント紹介(一部)

大学は美味しい!! フェア

期間 平成28年5月26日(木)～5月31日(火)

会場 新宿高島屋11階 催会場

概要 「もち小麦」「アピオス」「ガマズミ」
使用商品の試食販売



2016年度青森県保健医療福祉研究発表会
日本ヒューマンケア科学学会第9回学術集会

合同集会の開催について

この発表会は、本学教職員、学生、及び県内の保健・医療・福祉に従事する方の日頃の研究成果を発表する場です。ご興味がある方のご参加をお待ちしております。当日は大学院進学相談会も同時開催しております。学部学生の皆さんもお気軽にご参加ください。

【主なプログラム】

● 一般演題 (口述発表、ポスター発表)

● 教育講演

『音楽は脳の健康維持に役立つ』

● シンポジウム

『認知症を取り巻く諸問題：治療介護の現状と今後の課題』

開催日 平成28年12月17日(土)

時間 9:50～17:00

会場 青森県立保健大学(A棟1階)



保護者等(後援会)懇談会

今年度は大学祭初日の10月8日(土)に開催され、37組49名の保護者の皆様にご参加いただきました。

会は三部構成となっており、全体会では、学長等から本学の教育活動、学生生活支援内容、就職支援状況等についてご説明いたしました。その後、学科別プログラムでは、各学科の特色を踏まえた修学支援、学生生活支援及び就職支援の状況等についてご説明いたしました。最後に、在籍する学生に関するご相談を所属学科の教員がお受けする個別相談会が行われました。

ご参加いただいた保護者の皆様との対話を通じて、保護者の皆様と本学との相互理解が促進され、本学の今後の教育研究活動と学生支援のあり方について共に考える貴重な場となりましたことを深く感謝申し上げます。



大澤後援会長からの挨拶



全体会の様子(壇上は上泉学長)

ヘルスリテラシー 向上サポート活動報告

本学ではヘルスリテラシー推進事業に継続的に取り組んでいますが、その一環で昨年より学生・教員の独自の事業を「ヘルスリテラシー向上サポート活動」として認定し、支援しています。昨年度は3件、今年度は7件の活動が進められています。その内容を表に示します。

チーム名	活動名
エンジョイ・ウォーキングライフ	身近な地域で手軽に、歩きながら「こころ」と「からだ」のリフレッシュ
おかず味噌汁健やか力向上委員会	おかず味噌汁を食して健やか力を向上させよう運動(フェーズ2)
りんごの会	りんごの会 season 2
チーム家族	元気フェスタPart II
理学療法展開研究会+α	青森市のロコトレ活動への支援介入
健やか力検定実行チーム	「健やか力検定」等ヘルスリテラシー向上に向けた諸活動
A-knot	青森県の健康食材を学んで、健やか力アップ

また、大学祭での出展も昨年から行っています。今年度は「CHL～Challenge for Health Literacy～健やか力への挑戦」をテーマに、本学4学科の特徴を活かした出展を行うとともに、今年度のヘルスリテラシー向上サポート活動の中間報告を行いました。

本年はヘルスリテラシー活動を紹介する学内ホームページもたちあげました。「ほすこやカナビ」と名付けています。ぜひ立ち寄ってみてください。



↑このバナーが目印です!

看護学科



血管年齢、内臓脂肪測定

写真は内臓脂肪測定の様子です。

理学療法学科



骨密度測定

社会福祉学科



シレットパズルを活用した
思考の柔軟性の促進と「アハ体験」

栄養学科



食育 SAT(サット)システムによる
普段の食事の栄養価測定、
栄養教育カード展示

写真は食育 SAT システム利用の様子です。

発行：青森県立保健大学 広報委員会・青森県立保健大学 後援会



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学